

信 大 国 第 0028 号
令 和 3 年 8 月 10 日

文部科学省高等教育局長 殿

信州大学 学長
濱田 州博

文部科学省認定「留学生就職促進教育プログラム」の申請について

下記の教育プログラムについて、令和3年度「留学生就職促進教育プログラム」に申請します。

1. 教育プログラム名 「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職促進教育プログラム

2. 代表大学 信州大学 法人名： 国立大学法人信州大学

3. 参画大学等 金沢大学

4. 参画企業等 コンソーシアム企業・団体 (199)

5. 申請者連絡先

氏 名	所属・職名
佐々木千加子	国際部国際企画課・課長
〒 390-8621	
長野県 松本市旭3丁目1番1号	
信州大学	国際部国際企画課
TEL :	0263-37-2865
	e-mail① : kagayaki_su@shinshu-u.ac.jp
	e-mail② :

令和 3 年 8 月 10 日

留学生就職促進教育プログラムの概要について

1. 申請大学名

信州大学

2. 教育プログラム名

「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職促進教育プログラム

3. 取組を紹介する
ホームページURL<http://kagayaki-shinshu-u.jp/>

4. 教育プログラムの概要 ※プログラムを説明する概要資料（原則 1 枚）を添付。

履修定員	履修期間
30名	2年 (4月~3月)

履修要件：

- ・日本国内、特に信州地域または北陸地域の企業に就職する意思がある留学生
- ・所属大学が実施する授業および企画する活動に積極的に参加する意思がある留学生
- ・日本企業で働くための日本の商習慣、日本人の職業観等を理解する意思がある留学生

修了要件： ビジネス教育科目から4ポイント以上、キャリア教育科目群から3ポイント以上、インターンシップ教育科目から3ポイント以上取得

履修モデル： 様式任意（別添）

※ 年次進行を含めた教育プログラム全体の履修モデルを作成してください。

5. 教育プログラムを構成する科目等

① 日本語教育【必須】

到達目標：

・就職活動から就職後の活躍までを視野に入れた実践的なビジネス日本語指導で日本語能力の引き上げを行い、N2以上の基礎的な日本語能力を習得させる（ただしN2以上取得を修了要件とはしない）。またアクティブ・ラーニング形式で日本特有の待遇表現(敬語等)やメール・電話対応等の実践的な日本語能力およびビジネスマナー・日本人の職業観等の日本事情も習得させる。

目標設定の考え方：

・日本語能力そのものの向上にとどまらず、日本社会において通用する最低限のツールとしての実践的な日本語を短期間で身につけることを重視して設定した。
・就職後すぐに退職せず、企業に貢献できるレベルにまで成長するには、上記の日本事情は必須と考える。

開設科目： 様式3の通り

修了に必要な単位数等：

4ポイント以上を取得すること（※日本語能力試験N1またはN2取得の者は1ポイント認定）

② キャリア教育【必須】

開設科目： 様式3の通り

修了に必要な単位数等：

日本企業文化・組織論[1ポイント]を必須とし、加えて下記科目群から選択して合計3ポイント以上の取得を修了の要件とする。
ながの信州学、いしかわ金沢学、技術経営、各学部キャリア教育科目

③ インターンシップ【必須】

開設科目： 様式3の通り

修了に必要な単位数等：

事前学習・インターンシップ参加・振り返りを行い合計3ポイントを修了要件とする。
【インターンシップ参加（合計2ポイント）】
1週間程度のインターンシップ参加を1ポイントとする。
【事前・事後学習（1ポイント）】
インターンシップでの学びを振り返るポートフォリオを作成する。ここでは、インターンシップの成果を記録し、自己分析をすることで、自分の強み・弱点を理解して就職活動につなげる。

上記開設科目以外の
インターンシップの
実施方法（あれば）

・大学のキャリア教育・サポートセンターが実施する「大しごとーく」（80社以上の企業が参加する企業紹介イベント）にて、留学生はインターンシップを提供する企業情報を手にする。
・県主催の産学官連携インターンシップにおいて、留学生を主にインターンシップ生として受け入れる企業と留学生とのマッチングを強化する。

④ 就職活動の支援に関する取組【必須】

- 取組内容：
- ・ 外部講師による留学生就職に関する講演及び指導
 - ・ 留学生就職促進コンソーシアム企業に対する情報提供
 - ・ 留学生個々と面談の上、地域企業とのマッチング

⑤ 就職した外国人留学生に対するフォローアップ体制等の工夫【任意】

- 取組内容：
- ・ 指導教員やコーディネータが留学生就職企業への人事担当者・留学生の所属部署担当者との情報交換をする
 - ・ コーディネータが留学生就職企業を訪問し、OB・OGと面談する。
 - ・ 学内の同窓イベントや授業等に講師として招聘・講話をしてもらい、所属大学との信頼関係の継続

6. 認定後のプログラム内容に係る情報発信の取組について【任意】

- ・ ホームページでの発信「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職促進教育プログラム（信州大学・金沢大学）
- ・ 留学生就職促進教育プログラム情報をメールなどでコンソーシアム企業へ配信